

## 編集 後記

地域保健に基づく基本指針が3年ぶりに改正されました。今回の改正は、前回の基本指針の改正以降に地域保健関連の業務の中で特に焦点となり、その対策が進んでいった事項等を盛り込んだ（整理した）というものでした。その中からいくつかのキーワードをあげれば、「健康増進法（健康日本21の推進）」、「精神障害者の社会復帰対策」、「次世代育成支援対策」、「児童虐待防止」、「生活衛生対策（レジオネラ菌・シックハウス症候群等の対策を含む）」、「食品衛生対策」、「地域保健と産業保健との連携」、「地域における健康危機管理対策」等といったものであり、地域保健においては、幅広い分野に関わっていて、それぞれの分野の課題等も変化していることがおのずから感じ取られる改正内容だと思えます。これらの課題等に対して、地域保健の現場においては、個別のサービスを提供することもあり、関係者・関係機関との連絡調整をすることもあり、また、一般の方々への正しい知識の普及啓発を行うこともあり、さまざまな対応が求められることとなりますが、その時々への個別対応のみに流されることなく、中長期的な視点を絶えず持ちながら業務を進めていくことが重要であると思っています。

少し堅い話になってしまいましたが、これらについて、本雑誌が少しでもお役に立てればと思っています。

（渡辺真俊）

## 次号予告

### 原著

- 地域において75 gぶどう糖負荷試験により判定された耐糖能異常者の死亡率についての検討  
 ..... 齊藤 功, 他  
 大阪市におけるホームレス者の死亡調査  
 ..... 逢坂隆子, 他  
 百寿者のQuality of Life維持とその関連要因  
 ..... 尾崎章子, 他

### 資料

- 介護保険施行後の保健師活動に関する調査（第1報）  
 介護保険業務へのとりくみに焦点を当てて  
 ..... 永田智子, 他  
 通常の学級や特殊学級に在籍する障害児の心身の健康状態と養護教諭の役割について  
 ..... 飯島久美子, 他  
 感染症法施行後における感染症発生動向調査の定点配置状況  
 ..... 村上義孝, 他

### 公衆衛生活動報告

- 地域における老年期痴呆の早期発見・早期対応システムの構築にむけての取り組み  
 ..... 藤原佳典, 他

## 第68回日本民族衛生学会のご案内

会 長：二塚 信（熊本大学大学院医学薬学研究部 公衆衛生・医療科学分野）

会 期：平成15年11月27日（木）、28日（金）

会 場：熊本市民会館（熊本市桜町 1-3）

プログラム概要

【特別講演】 山本研一（熊本大学副学長）

演題「環境と遺伝」

【学会長講演】 二塚 信（熊本大学大学院教授）

演題「メチル水銀汚染地域住民の追跡調査」

【シンポジウム】 座長 大塚柳太郎（東京大学大学院教授）

テーマ「国際保健における行動研究の意義」

【一般演題】

参加費

早期登録 6,000円（講演集を含む）平成15年7月31日まで

通常登録 7,000円（講演集を含む）平成15年10月1日まで

懇親会費 6,000円

記念写真代 1,500円

問い合わせ先

熊本大学大学院医学薬学研究部 公衆衛生・医療科学分野

〒860-8556 熊本市本荘 1-1-1 TEL：096-373-5112 FAX：096-373-5113

北野隆雄

日本産業衛生学会・第37回中小企業安全衛生研究会・全国集会のご案内  
メインテーマ 産業保健と地域保健の連携  
—小規模事業所に対する産業保健サービスの展開—

主 催：日本産業衛生学会・中小企業安全衛生研究会  
第37回世話人：武藤孝司（獨協医科大学公衆衛生学講座）  
日 時：平成15年12月6日（土）午前10時～午後5時  
会 場：とちぎ健康の森（宇都宮市）

（プログラム概要）

教 育 講 演：小規模事業所に対する産業健康サービスの供給システム  
特 別 講 演：小規模事業所に対する包括的な産業保健サービスの展開  
基 調 講 演：地域保健と産業保健との連携に関する保健所の役割  
シンポジウム：産業保健と地域保健の連携：産業保健サービス機関の課題と展望  
一 般 講 演：ポスター発表（優秀ポスターを表彰します。）

（参加費：3,000円。認定産業医単位取得希望の方は、5,000円）

連絡先 〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880  
獨協医科大学公衆衛生学・第37回全国集会事務局（担当：鈴木）  
TEL：0282-87-2133 FAX：0282-86-2935  
E-メール：esuzuki@dokkyomed.ac.jp

低線量放射線影響に関する国際シンポジウム  
「低線量放射線は健康に有害ではない疫学的事例」

日 時：平成15年10月15日（水）13：00～17：30（開場12：30）  
会 場：経団連ホール（経団連会館14階）  
主 催：財電力中央研究所 低線量放射線研究センター  
TEL 03-3480-2111 FAX 03-3480-3113  
<http://criepi.denken.or.jp/jpn/idrc/index.html>

講 演

日本の原子力産業放射線業務従事者の疫学調査  
放射線影響協会 放射線疫学調査センター長 村田 紀  
米国造船所作業員における低レベル放射線の健康影響  
ジョンスホプキンス大学衛生学部疫学講座教授 G. M. Matanoski  
英国放射線科医の100年にわたる調査：1897年から1997年までのがんおよび  
その他の死因について  
オックスフォード大学名誉教授 英国王立がん研究財団がん研究部門名誉会員  
Sir Richard Doll

低線量放射線影響に関するワークショップ  
「疫学と放射線生物学の接点を求めて」

日 時：平成15年10月16日（木）13：30～17：30（開場13：00）  
会 場：経団連会館10階 ルビールーム